

# 主要事業所の環境データ（サイトデータ）

## 筑波事業所

集計範囲：開発技術センターを含めた筑波事業所内を対象としています。

**事業所概要** 所在地 茨城県稲敷郡阿見町大字福田字谷の沢127-7  
 操業開始 1981年(昭和56年)10月  
 敷地面積 97,000m<sup>2</sup> (東京ドーム2ヶ分に相当)  
 建物延床面積 29,326m<sup>2</sup> (2007年4月修正登記)  
 社員数 355人 (2008年3月末現在)



**主な生産品目** 事務用デジタル印刷機「リングラフ」ならびに関連周辺機器  
 高速カラープリンター「オルフィス」ならびに周辺機器

**特定施設の届出状況** ・大気汚染防止法のばい煙発生施設(ボイラー)  
 ・霞ヶ浦の富栄養化の防止に関する条例の特定施設:浄化槽  
 ・振動防止法の特定施設:油圧プレス、機械プレス、空気圧縮機、せん断機、丸のご盤

**主な環境保全活動** ・ISO14001:2007年12月認証更新  
 ・RoHS指令対応など環境配慮設計活動  
 ・グリーン調達の実施  
 ・廃棄物排出量の削減と再資源化の推進  
 ・省エネによるCO<sub>2</sub>排出量削減  
 ・使用済みインクボトルのリサイクル  
 ・グリーン購入の推進

**環境関連データ** ・電力使用量:289.9万kWh【2006年度比103%】  
 ・廃棄物総排出量:615.8t\*【2006年度比121%】  
 ・埋立最終処分量:1.4t\*【2006年度比70%】  
 ・廃棄物再資源化率:99.8%【2006年度比1.2ポイント増】  
 ・水使用量:11,888m<sup>3</sup> (上水のみ)【2006年度比96%】  
 ・排水量:11,888m<sup>3</sup>【2006年度比96%】  
 ・BOD年間排出量:26.7kg/年【2006年度比127%】(平均濃度×年間排水量で算出)  
 ・窒素年間排出量:129.6kg/年【2006年度比95%】(平均濃度×年間排水量で算出)  
 ・燐年間排出量:8.3kg/年【2006年度比67%】(平均濃度×年間排水量で算出)

\*市場での環境負荷を減らすため、中国生産製品のリターンブルパレット移送を進めた結果、廃棄物排出量が増加しました。また再資源化に取り組み、埋立最終処分量が減少しました。(P24参照)

### 主な環境負荷データ

#### 排水の水質

測定項目	単位	規制値	自主基準設定値	最大値	平均値
水素イオン濃度	pH	6.0-8.2	6.11~8.09	7.6	7.4
化学的酸素要求量(COD)	mg/ℓ	10.0	9.0	10	8
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/ℓ	10.0	9.0	4	2.25
浮遊物質	mg/ℓ	15.0	13.5	8	2.5
Nヘキサン抽出物含有量(鉱油類)	mg/ℓ	3.0	2.7	1	1
Nヘキサン抽出物含有量(動植物油脂類)	mg/ℓ	5.0	4.5	1	1
大腸菌群数	群数/mℓ	1000.0	900.0	0	0
窒素含有量	mg/ℓ	15.0	13.5	13.5	10.9
燐含有量	mg/ℓ	2.0	1.8	1.4	0.7

筑波事業所の排水は、公共水域に排出しています。

規制値は、水質汚濁防止法、霞ヶ浦の富栄養化の防止に関する条例、阿見町との公害防止協定によるものです。

\*浄化槽のろ過ポンプが故障したことにより、4月度のCODが高くなりました(5月度修理実施)。これまでの点検項目に加えて使用モーターの絶縁抵抗値を管理し、絶縁抵抗値が低い場合は壊れる前に交換を行うように対策しました。

#### 大気への排出

物質名	単位	規制値	自主基準設定値	最大値	平均値
硫黄酸化物(SO <sub>x</sub> )	m <sup>3</sup> N/時	1.03	—	0.032	0.028
窒素酸化物(NO <sub>x</sub> )	volppm	180	—	84	45
ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.3	—	0.005	0.003

# 主要事業所の環境データ(サイトデータ)

## 霞ヶ浦事業所

集計範囲：開発本部の一部門、リサイクルセンターを含めた霞ヶ浦事業所内を対象にしています。

**事業所概要** 所在地 茨城県稲敷郡阿見町阿見282-2  
 操業開始 1965年(昭和40年)8月  
 敷地面積 28,265m<sup>2</sup>  
 建物延床面積 16,821m<sup>2</sup>  
 社員数 92人(2008年3月末現在)

**主な生産品目** 事務用デジタル印刷機「リソグラフ」用カラーインクならびにマスター高速カラープリンター「オルフィス」用インク  
 家庭用簡易印刷機「プリントゴッコ」ならびに関連消耗品

**特定施設の届出状況** ・大気汚染防止法のばい煙発生施設(ボイラー)  
 ・騒音・振動防止法の特定施設:コンプレッサー(空気圧縮機)、シャーリングなどの工作機械

**主な環境保全活動** ・ISO14001:2007年12月認証更進  
 ・省エネによるCO<sub>2</sub>排出量削減  
 ・廃棄物排出量の削減と再資源化の推進  
 ・使用済み印刷機本体のリサイクル活動

**環境関連データ** ・電力使用量:192.3万kWh【2006年度比 103%】  
 ・廃棄物総排出量:282t\*【2006年度比 70%】  
 ・埋立最終処分量:7.8t\*【2006年度比 41%】  
 ・廃棄物再資源化率:80%\*【2006年度比 30ポイント増】  
 ・水使用量:17,838m<sup>3</sup>(上水3,161m<sup>3</sup>、地下水14,677m<sup>3</sup>)【2006年度比 102%】  
 ・排水量:8,826m<sup>3</sup>【2006年度比 105%】  
 ・BOD年間排出量:109kg/年【2006年度比 138%】(平均濃度×年間排水量で算出)  
 ・窒素年間排出量:134kg/年【2006年度比 101%】(平均濃度×年間排水量で算出)  
 ・燐年間排出量:18kg/年【2006年度比 113%】(平均濃度×年間排水量で算出)  
 \* 廃棄物の排出抑制、再資源化の推進により最終処分量が減少し、再資源化率は向上した。

### 主な環境負荷データ

#### 排水の水質

測定項目	単位	規制値	自主基準設定値	最大値	平均値
水素イオン濃度※	pH	5~9	—	7.6	7.3
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/ℓ	600.0	—	22.0	12.4
浮遊物質	mg/ℓ	600.0	—	13.0	9.9
Nヘキサン抽出物含有量(鉱油類)	mg/ℓ	5.0	—	1未満	1未満
Nヘキサン抽出物含有量(動植物油脂類)	mg/ℓ	30.0	—	1.2	1.0
窒素含有量	mg/ℓ	60.0	—	27.0	15.2
燐含有量	mg/ℓ	10.0	—	3.1	2.0

霞ヶ浦事業所の排水は全て公共下水道へ排出しています。規制値は、霞ヶ浦流域の土浦市下水道条例によるものです。

#### 大気への排出

	物質名	単位	規制値	自主基準設定値	最大値	平均値
009ボイラー (1号機)	硫黄酸化物(SOx)	m <sup>3</sup> N/時	1.1	0.05	0.02	0.015
	窒素酸化物(NOx)	volppm	180	165	88	80
	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.3	0.03	0.01	0.01
010ボイラー (2号機)	硫黄酸化物(SOx)	m <sup>3</sup> N/時	1.1	0.05	0.02	0.02
	窒素酸化物(NOx)	volppm	180	165	67	61.5
	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.3	0.03	0.01	0.01
007ボイラー (3号機)	硫黄酸化物(SOx)	m <sup>3</sup> N/時	1.1	0.05	0.04	0.03
	窒素酸化物(NOx)	volppm	180	165	92	89.5
	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.3	0.03	0.02	0.015
008ボイラー (4号機)	硫黄酸化物(SOx)	m <sup>3</sup> N/時	1.1	0.05	0.03	0.025
	窒素酸化物(NOx)	volppm	180	165	98	90
	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.3	0.03	0.01	0.01

## 宇部事業所

集計範囲：宇部事業所内を対象としています。

**事業所概要** 所在地 山口県宇部市瀬戸原工業団地 建物延床面積 15,598m<sup>2</sup>  
 操業開始 1986年(昭和61年)6月 社員数 82人  
 敷地面積 75,871m<sup>2</sup> (2008年3月末現在)



**主な生産品目** 事務用デジタル印刷機「リソグラフ」用黒インクならびにマスター

**特定施設の届出状況** 大気汚染防止法のばい煙発生施設(ボイラー)

**主な環境保全活動**

- ・ISO14001:2007年12月認証更進
- ・RoHS指令対応など環境配慮設計活動
- ・廃棄物排出量の削減と再資源化の推進
- ・省エネによるCO<sub>2</sub>排出量削減
- ・使用済みインクボトルのリサイクル推進
- ・グリーン購入の推進

**環境関連データ**

- ・電力使用量:294.4万kWh【2006年度比94%】
- ・水使用量:8,185m<sup>3</sup>(上水4,006m<sup>3</sup>、地下水4,179m<sup>3</sup>)【2006年度比97%】
- ・廃棄物総排出量:271.8t【2006年度比116%】
- ・排水量:4,006m<sup>3</sup>【2006年度比95%】
- ・埋立最終処分量:1.3t【2006年度比22%】
- ・BOD年間排出量:58kg/年【2006年度比149%】
- ・廃棄物再資源化率:90%\*【2006年度比70ポイント増】
- (平均濃度×年間排水量で算出)
- \*2006年度、廃インクの処理を委託先の都合により再資源化処理から単純焼却処理に変更せざるを得なかったが、2007年4月より新規再資源化処理委託先で処理したことによる。

### 主な環境負荷データ

#### 排水の水質

測定項目	単位	規制値	自主基準設定値	最大値	平均値
水素イオン濃度	pH	5.8~8.6	5.8~8.6	7.6	7.3
化学的酸素要求量(COD)	mg/ℓ	160	112	24	18.8
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/ℓ	160	112	18	14.4
浮遊物質	mg/ℓ	200	140	12	6.5
大腸菌群数	群数/ml	3000	2100	25	4.2

#### 大気への排出

物質名	単位	規制値	自主基準設定値	最大値	平均値
硫黄酸化物(SOx)	m <sup>3</sup> N/時	0.602	0.355	0.130	0.101
窒素酸化物(NOx)	volppm	180	165	100	90
ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.3	0.05	0.0027	0.0021

宇部事業所の排水は、公共水域に排出しています。規制値は、水質汚濁防止法および山口県公害防止条例によるものです。

## 若栗事業所

集計範囲：若栗事業所内を対象としています。

**事業所概要** 所在地 茨城県稲敷郡阿見町若栗西神田 敷地面積 6,710m<sup>2</sup>  
 1339-2 建物延床面積 5,179m<sup>2</sup>  
 設 立 1990年(平成2年)4月 社員数 80人  
 (2008年3月末現在)



**主な環境保全活動**

- ・ISO14001:2007年12月認証更進
- ・RoHS指令対応など環境配慮設計活動
- ・省エネによるCO<sub>2</sub>排出量削減
- ・廃棄物排出量の削減と再資源化の推進
- ・グリーン購入の推進

**環境関連データ**

- ・電力使用量:53万kWh【2006年度比43%】
- ・排水量:2,640m<sup>3</sup>【2006年度比82%】
- ・廃棄物総排出量:10t【2006年度比100%】
- ・BOD年間排出量:597kg/年【2006年度比143%】(平均濃度×年間排水量で算出)
- ・埋立最終処分量:1t【2006年度比100%】
- ・窒素年間排出量:75kg/年【2006年度比71%】(平均濃度×年間排水量で算出)
- ・廃棄物再資源化率:54%【2006年度比3ポイント減】
- ・燐年間排出量:6kg/年【2006年度比120%】(平均濃度×年間排水量で算出)
- ・水使用量:2,640m<sup>3</sup>(上水のみ)【2006年度比82%】

### 主な環境負荷データ

#### 排水の水質

測定項目	単位	規制値	自主基準設定値	最大値	平均値
水素イオン濃度※	pH	5~9	5.4~8.6	8.6	6.8
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/ℓ	5日間に600mg未満	5日間に480mg未満	520	226
浮遊物質	mg/ℓ	600mg未満	5日間に480mg未満	99	58.8
Nヘキサン抽出物含有量(鉱油類)	mg/ℓ	5mg以下	4mg以下	1	1
Nヘキサン抽出物含有量(動植物油脂類)	mg/ℓ	30mg以下	24mg以下	68*	23.8
窒素含有量	mg/ℓ	日間平均60mg以下	日間平均48mg以下	53.3	28.3
燐含有量	mg/ℓ	日間平均10mg以下	日間平均8mg以下	5.7	2.2

若栗事業所の排水は公共下水道へ排出しています。規制値は、阿見町下水道条例によるものです。

\*社員食堂の食器洗浄時の節水に努めたところ、管理基準超過の事実が判明しました。町の下水道課に報告相談するとともに、監視を継続しています。